



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日 東

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所
 コード番号 4506 URL <http://www.ds-pharma.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 正世
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 渡辺 晶子 (TEL) 06-6203-1407
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日 配当支払開始予定日 平成26年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	178,290	△1.7	11,945	△31.5	12,712	△27.0	11,758	35.2
26年3月期第2四半期	181,396	1.5	17,435	△12.7	17,408	△12.6	8,697	△20.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 25,364百万円(37.0%) 26年3月期第2四半期 18,513百万円(43.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	29.60	—
26年3月期第2四半期	21.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	670,765	419,996	62.6
26年3月期	659,032	398,540	60.5

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 419,996百万円 26年3月期 398,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
27年3月期	—	9.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	366,000	△5.6	20,000	△52.5	19,500	△52.0	14,000	△30.2	35.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

詳細は添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	397,900,154株	26年3月期	397,900,154株
27年3月期2Q	594,785株	26年3月期	593,962株
27年3月期2Q	397,305,768株	26年3月期2Q	397,308,773株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成26年10月31日(金)に機関投資家・アナリスト向けに、第2四半期決算説明会を開催する予定です。この決算説明会で配布する資料等については、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

売上高は、北米セグメントでは非定型抗精神病薬「ラツダ」が予想を上回るペースで売上拡大し、中国セグメントではカルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」を中心に増収となりましたが、日本セグメントでは薬価改定や後発品の影響を受け大幅な減収となった結果、1,782億90百万円（前年同期比1.7%減）となりました。販売費及び一般管理費については、特許権の減価償却費が大きく減少しましたが、「ラツダ」売上拡大のための広告宣伝費等が増加したことに加え、北米における臨床開発費を中心に研究開発費が増加しました。この結果、営業利益は119億45百万円（同31.5%減）、経常利益は127億12百万円（同27.0%減）となりました。なお、固定資産売却益等を特別損益に計上したことにより、四半期純利益は117億58百万円（同35.2%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 日本

高血圧症治療剤「アイミクス」およびパーキンソン病治療剤「トレリーフ」の戦略製品2剤の売上は拡大しましたが、薬価改定や後発品使用促進策の浸透に伴う既存品の売上減少の影響等が大きく、売上高は781億60百万円（同7.7%減）となりました。セグメント利益は、販売関連費用を中心に経費の削減に努めましたが、売上高減少の影響が大きく261億81百万円（同14.1%減）となりました。

② 北米

本年4月に独占販売期間が終了した催眠鎮静剤「ルネスタ」の売上高は大きく減少しましたが、「ラツダ」の予想を上回る売上拡大や本年4月に新発売した抗てんかん剤「アプティオム」が寄与した結果、売上高は674億10百万円（同1.4%増）となりました。セグメント利益は、「ルネスタ」に係る特許権の償却が終了しましたが、「ラツダ」の広告宣伝費を中心とした販売関連費用や政府管掌の保険制度を通じて販売された先発薬の売上にかかるフィーが大幅に増加した結果、136億65百万円（同3.6%減）となりました。

③ 中国

「メロペン」を中心に売上が大きく拡大した結果、売上高は83億57百万円（同51.9%増）、セグメント利益は36億66百万円（同173.7%増）と大幅な増益となりました。

④ 海外その他

売上高は輸出増により44億71百万円（同4.2%増）となりました。セグメント利益は、本年8月に英国で発売した「ラツダ」の販売関連費用の発生等により6億23百万円（同58.9%減）となりました。

上記報告セグメントのほか、当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の販売を行っており、それらの事業の売上高は198億91百万円（同2.8%減）、セグメント利益は9億77百万円（同30.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産については、流動資産では、受取手形及び売掛金が減少し、現金及び預金や有価証券が増加しました。また固定資産では、売却により土地を中心に有形固定資産が減少し、為替換算の影響により無形固定資産が増加しました。この結果、総資産は前期末に比べ117億33百万円増加し、6,707億65百万円となりました。

負債については、未払法人税等や未払金が減少したことに加え、返済により長期借入金が増加した結果、前期末に比べ97億22百万円減少し、2,507億69百万円となりました。

純資産については、利益剰余金や為替換算調整勘定が増加したこと等により、前期末に比べ214億55百万円増加し、4,199億96百万円となりました。

なお、当四半期末の自己資本比率は62.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、平成26年7月30日に公表した平成27年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	352,000	20,000	19,000	12,000	30.20
今回修正予想 (B)	366,000	20,000	19,500	14,000	35.24
増減額 (B - A)	14,000	—	500	2,000	—
増減率 (%)	4.0	—	2.6	16.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	387,693	42,142	40,631	20,060	50.49

売上高は、国内の売上が低調であるものの、北米セグメント等海外での売上が引き続き堅調に推移することや、期初の想定に対して円安基調が継続していることから、前回発表予想を140億円上回る3,660億円に修正いたしました。

売上原価は、売上が拡大するものの、製品構成の変化により微増に留まる見通しです。

一方、販売費及び一般管理費は、北米セグメントでの「ラツダ」の販売関連費用や政府管掌の保険制度を通じて販売された先発薬の売上ににかかるフィーの増加及び円安の影響等により増加する見通しであることから、営業利益は200億円と前回発表予想通りを見込んでおります。

また、営業外損益の改善が見込まれること、特別損益では、固定資産売却益の計上が前回発表予想時より増加すること等から経常利益は5億円増の195億円、当期純利益は20億円増の140億円に修正いたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が245百万円減少し、退職給付に係る負債が62百万円増加し、利益剰余金が198百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,746	29,509
受取手形及び売掛金	111,662	94,061
有価証券	81,952	103,180
商品及び製品	46,377	46,733
仕掛品	2,408	3,364
原材料及び貯蔵品	10,356	14,025
繰延税金資産	37,281	37,484
短期貸付金	41,720	38,307
その他	5,225	5,206
貸倒引当金	△120	△110
流動資産合計	359,611	371,763
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	100,804	98,651
減価償却累計額及び減損損失累計額	△56,396	△54,473
建物及び構築物（純額）	44,407	44,177
機械装置及び運搬具	77,479	78,775
減価償却累計額及び減損損失累計額	△67,833	△69,417
機械装置及び運搬具（純額）	9,646	9,357
土地	8,396	6,381
建設仮勘定	3,080	2,627
その他	32,271	33,298
減価償却累計額及び減損損失累計額	△25,113	△25,969
その他（純額）	7,157	7,328
有形固定資産合計	72,689	69,872
無形固定資産		
のれん	80,669	82,885
仕掛研究開発	56,071	55,941
その他	20,055	19,657
無形固定資産合計	156,796	158,485
投資その他の資産		
投資有価証券	50,823	52,403
退職給付に係る資産	4,685	4,632
繰延税金資産	8,602	6,112
その他	5,865	7,540
貸倒引当金	△41	△44
投資その他の資産合計	69,935	70,644
固定資産合計	299,421	299,002
資産合計	659,032	670,765

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,713	14,134
1年内返済予定の長期借入金	10,000	10,179
未払法人税等	10,524	6,052
賞与引当金	7,786	8,711
返品調整引当金	9,894	7,568
売上割戻引当金	26,421	30,303
未払金	35,937	31,418
その他	18,930	16,503
流動負債合計	131,207	124,871
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	25,000	20,119
繰延税金負債	15,704	14,586
退職給付に係る負債	13,892	14,049
その他	14,687	17,142
固定負債合計	129,284	125,897
負債合計	260,492	250,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,860	15,860
利益剰余金	318,861	326,713
自己株式	△656	△658
株主資本合計	356,465	364,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,247	17,361
繰延ヘッジ損益	△0	28
為替換算調整勘定	26,792	40,094
退職給付に係る調整累計額	△1,964	△1,802
その他の包括利益累計額合計	42,074	55,680
純資産合計	398,540	419,996
負債純資産合計	659,032	670,765

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	181,396	178,290
売上原価	50,451	48,470
売上総利益	130,944	129,820
返品調整引当金戻入額	14	2
差引売上総利益	130,958	129,822
販売費及び一般管理費		
給料	17,693	18,183
賞与引当金繰入額	5,030	5,973
退職給付費用	2,081	2,215
研究開発費	31,491	33,168
その他	57,226	58,336
販売費及び一般管理費合計	113,523	117,877
営業利益	17,435	11,945
営業外収益		
受取利息	155	184
受取配当金	466	833
投資事業組合運用益	1	891
その他	621	443
営業外収益合計	1,245	2,352
営業外費用		
支払利息	510	467
為替差損	103	488
その他	658	630
営業外費用合計	1,272	1,586
経常利益	17,408	12,712
特別利益		
固定資産売却益	—	8,278
受取損害賠償金	—	1,711
投資有価証券売却益	2,765	—
条件付取得対価に係る公正価値の変動額	1,062	—
特別利益合計	3,827	9,989
特別損失		
事業構造改善費用	1,662	646
減損損失	4,611	—
特別損失合計	6,274	646
税金等調整前四半期純利益	14,961	22,054
法人税等	6,263	10,296
少数株主損益調整前四半期純利益	8,697	11,758
四半期純利益	8,697	11,758

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,697	11,758
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	113
繰延ヘッジ損益	—	28
為替換算調整勘定	9,789	13,302
退職給付に係る調整額	—	161
その他の包括利益合計	9,815	13,605
四半期包括利益	18,513	25,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,513	25,364
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,961	22,054
減価償却費	11,540	7,134
減損損失	4,611	—
のれん償却額	2,526	2,565
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△384	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	152
その他の引当金の増減額(△は減少)	10,115	148
受取利息及び受取配当金	△622	△1,018
支払利息	510	467
有形固定資産売却損益(△は益)	△2	△8,278
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,765	△31
事業構造改善費用	1,662	646
売上債権の増減額(△は増加)	△5,508	19,069
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,061	△3,996
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,824	1,489
未払金の増減額(△は減少)	△8,995	△3,537
その他	1,908	△3,089
小計	27,796	33,777
利息及び配当金の受取額	735	1,151
利息の支払額	△512	△442
事業構造改善費用の支払額	△3,302	△679
法人税等の支払額	△2,450	△12,240
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,266	21,566
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	4,766	—
有価証券の取得による支出	△22,709	△20,307
有価証券の売却による収入	497	1,499
有価証券の償還による収入	24,629	24,533
有形固定資産の取得による支出	△7,212	△5,016
有形固定資産の売却による収入	25	10,603
無形固定資産の取得による支出	△2,505	△1,428
投資有価証券の取得による支出	△2,498	△1,068
投資有価証券の売却による収入	2,800	43
関係会社株式の取得による支出	△2,775	△506
短期貸付金の純増減額(△は増加)	—	5,779
その他	△381	1,032
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,363	15,164

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	299
長期借入金の返済による支出	△5,000	△5,000
自己株式の純増減額(△は増加)	△2	△1
配当金の支払額	△3,575	△3,576
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,581	△8,280
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,669	3,770
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,990	32,221
現金及び現金同等物の期首残高	71,434	73,919
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	198
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,035	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	82,389	106,339

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	84,673	66,453	5,502	4,292	160,921	20,474	181,396
セグメント間の内部 売上高又は振替高	56	—	—	—	56	40	96
計	84,730	66,453	5,502	4,292	160,978	20,514	181,493
セグメント利益	30,475	14,172	1,339	1,516	47,505	1,404	48,909

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	47,505
「その他」の区分の利益	1,404
研究開発費(注)	△31,491
セグメント間取引消去	17
四半期連結損益計算書の営業利益	17,435

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「北米」セグメントにおいて、将来の収益性がないと判断した有形固定資産及び仕掛研究開発について回収可能性を評価し、それぞれ395百万円及び4,216百万円を減損損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「北米」セグメントにおいて、BBI社の買収に関して条件付取得対価の追加支払が発生したことにより、のれんが2,408百万円増加しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	78,160	67,410	8,357	4,471	158,399	19,891	178,290
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	26	26
計	78,160	67,410	8,357	4,471	158,399	19,917	178,316
セグメント利益	26,181	13,665	3,666	623	44,136	977	45,114

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	44,136
「その他」の区分の利益	977
研究開発費(注)	△33,168
セグメント間取引消去	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	11,945

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分していません。